



ここすまネットの活動について

～障害児者と障害児者に寄り添う皆の笑顔のために～

ここすまネット代表 中川 史

重い障害がある子を授かって





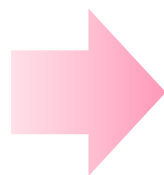
重度の障害があっても

心から笑えるように、

周りの皆も作り笑いでなく

心から笑えるように

こころスマイルネットワーク



ここすまネット

福祉と医療の連携が目的に開催。

様々な人や団体をつなぐ触媒のような役割を担う、関係づくりが特色。



交流タイムを設けて名刺交換をしていただき、
新たな連携や交流も深まり笑顔の輪も広がりました。



保護者だけでなく重症心身障害児者に関わってくださる皆様に情報を発信。



 kokosuma.com

ここすまネット

検索



重症心身障害児者の入院時の付き添い軽減

メディカルショートステイの設置

重症心身障害児者の相談窓口の設置



常に感謝の気持ちを伝え、重症心身障害児者と家族の置かれている状況を協議会やシンポジウムなどでも伝えながら、行政の皆様にご理解いただいた上で、情報を共有化しながら実現。

天風録

このところ急に春めいて、日中はコートが要らないくらい。イソップ童話でも、北風でなく太陽が旅人の上着を脱がせたように、あたたかさの力は大きい▲そんな太陽みたいなグループがある。広島市を拠点に重度の身体障害者や家族を支える「ここすまネット」。まだまだ不便の多い重度の人が暮らす環境を少しでも豊かにしようとして、関係者同士のつながりを深めてきた▲なぜ社会はこうも冷たいのかと、役所を責めたりはしない。前を向く方法をみんなで考える。ホームページの開設を祝う今月の交流会には医師や

施設の職員ら100人以上が集まった。福祉の担当を離れた公務員たちも仕事帰りにやってきてわいわい▲活動6年目。脳性まひの次男修作さん(27)を育ててきた代表の中川史さん(56)らの笑顔と「ありがとう」に引き寄せられるように、輪は広がったのだろう。みんなができることを積み重ね、制度も一歩ずつ進んできた▲「ここすま」は、「心でスマイル」の意味だそう。感情を顔に出せない重度の人の中喜べるように。そのため周りの人も作り笑いという「上着」を脱げるように。ぽかぽか温かいつながりは、きっと社会を照らしてくれる。



ご清聴ありがとうございました

ここすまネット

kokosuma.com